

事務事業名	7025 農政対策事業														
担当組織	環境経済部					経済戦略室					担当	労働農政担当			
組織コード	R4	15	01	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	06	01	01	01	01	記入日	令和 4年 6月21日	
	R3	15	01	00		R3	01	06	01	01	01	01			

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補			
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち						再掲施策	09	31	32	● 対象	
施策	25	自然に親しむ空間の整備・推進										○ 対象外	
事業期間	昭和50年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	戸田市農業研究会補助金交付要綱 土に親しむ広場の設置に関する要綱					関連計画 施政方針							
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：												
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：												
対象	市民、農業者、市内在住広場利用者、農地所有者												
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 姉妹都市での収穫体験や戸田収穫祭を通じて、市民の都市型農業に対する理解を深める。 ・ 農産物の栽培から収穫まで体験することを通じて、市民の農業への理解を醸成する。 												
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸田収穫祭を開催し、姉妹都市等や市内農家が生産した農産物の直売を実施する。 ・ 姉妹都市交流事業として、市民を対象に美里町での収穫体験を実施する。 ・ 食育の一環として、学校教育や保育園活動において地元産の野菜等に触れる機会を提供する。 ・ 農地所有者から申出のあった農地を市が借り受けて、農園として整備し、利用希望者へ区画を貸し出している。 												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 (農業研究会)												
行財政改革 の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額 (千円)	令和4年度 予算額 (千円)	令和5年度 計画額 (千円)	令和6年度 計画額 (千円)	令和7年度 計画額 (千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	土に親しむ広場の管理・運営、収穫祭での農産物等販					
	事業費	5,333	9,395	9,395	9,395	9,395	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	3,420	3,420	3,420	3,420
	一般財源	5,333	5,975	5,975	5,975	5,975	
	人件費	7,547.16	5,746.92	5,746.92	5,746.92	5,746.92	
	投入 人員	常勤職員	1.09人	0.83人	0.83人	0.83人	0.83人
		非常勤職員	0.38人	0.41人	0.41人	0.41人	0.41人
事業費+人件費		12,880	15,142	15,142	15,142	15,142	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	「土に親しむ広場」の快適な利用を目的とした除草等整備の実施	共有部の除草等整備の実施回数	回	12	12	12	12
	事務事業活動②	収穫祭の協力団体数	収穫祭への出店等に係る協力団体数	者	8	8	8	8
	事務事業活動③	姉妹都市交流事業美里町収穫体験の参加促進	姉妹都市交流事業美里町収穫体験の広報回数	回	2	2	2	2
	事務事業成果①	市民農園「土に親しむ広場」区画利用割合	年度末の段階で利用されている区画の割合	%	98	98	98	98
	事務事業成果②	収穫祭の参加者数	来場者延べ人数	人	2,500	2,500	2,500	2,500
	事務事業成果③	姉妹都市交流事業美里町収穫体験参加者数	姉妹都市交流事業美里町収穫体験への参加者数	人	65	65	65	65
	B: いずれかの目標を達成した。							
	目標達成状況の分析							
	<判断理由> 収穫祭、美里町での収穫体験は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業中止となった。土に親しむ広場は、当選後のキャンセル等もあり目標値を下回ったが、順次キャンセル待ちの方に声を掛けて、区画の利用を促していく。応募倍率は2倍を超えており、キャンセル待ちが発生している。							

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	B: 施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 新型コロナウイルス感染症拡大のため、予定されていた「収穫祭」及び「美里町での収穫体験」が実施できなかった。しかし、収穫体験用の農作物を市内の保育園に提供することが出来た。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A: 経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 効率的に事務を行っており、適正な範囲といえる。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	B: 事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 土に親しむ広場に寄せられる意見、トラブルに対応するため、職員により定期的に広場を訪問している。収穫体験は実施することが出来なかったが、例年、多数の応募をいただいている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	B: 受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 土に親しむ広場では、利用者から維持管理料を徴収し、姉妹都市での収穫体験では実施の際は参加者から参加料を徴収するなど、受益・負担は適正であると言える。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和3年度に実施した取組内容・効果	
令和4年度に実施する取組内容	

6. 令和5年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 姉妹都市での収穫体験や土に親しむ広場など、市民が農業へ触れる機会を創出し、都市型農業への関心を高めることができるよう事業に取組む。なお、収穫祭及び姉妹都市での収穫体験は、新型コロナウイルスの影響もあり事業が実施できていないが、本市のイベント等の開催に対する方針、近隣市町村の動向及び新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、事業実施の可否を判断していくこととする。

事務事業名	40486 緑化事務費													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	緑化推進担当		
組織コード	R4	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	08	04	07	01	01	記入日	令和 4年 6月24日
	R3	15	06	00		R3	01	08	04	07	01	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち						再掲施策	31			○ 対象	
施策	25	自然に親しむ空間の整備・推進										● 対象外	
事業期間													
根拠法令 通達等							関連計画 施政方針						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：												
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：												
対象													
事業目的	※予算編成用シート												
事業内容													
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												
行財政改革 の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容						
	事業費	9,602	10,192	10,192	10,192	10,192	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	3	0	0	0	0
		一般財源	9,599	10,192	10,192	10,192	10,192
	人件費	3,669.72	4,362.12	4,362.12	4,362.12	4,362.12	
	投入 人員	常勤職員	0.53人	0.63人	0.63人	0.63人	0.63人
		非常勤職員	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
事業費+人件費		13,272	14,554	14,554	14,554	14,554	

3. 目標達成状況 **<CHECK>**

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
目標達成状況の分析	—：未設定 <判断理由>							

4. 評価結果 **<CHECK>**

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	—：未設定 <判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	—：未設定 <判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	—：未設定 <判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	—：未設定 <判断理由>

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 **<ACTION>**

令和3年度に実施した取組内容・効果	
令和4年度に実施する取組内容	

6. 令和5年度の方向性・取組方針 **<ACTION>**

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針>

事務事業名	7585 緑化推進事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	緑化推進担当		
組織コード	R4	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	08	04	07	01	02	記入日	令和 4年 6月27日
	R3	15	06	00		R3	01	08	04	07	01	02		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち								再掲施策				○ 対象
施策	25	自然に親しむ空間の整備・推進												● 対象外
事業期間	昭和54年度～令和12年度													
根拠法令 通達等	戸田市緑化推進条例、緑化推進に関する規則 戸田市緑化推進補助金交付規程 戸田市建築物屋上等緑化奨励補助金交付要綱 戸田市生け垣等設置奨励補助金交付要綱						関連計画 施政方針		戸田市緑の基本計画					
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：													
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：													
対象	戸田市で保存樹木を所有している者、生け垣・屋上緑化等を設置する者。													
事業目的	良好な自然と生活環境を確保するため、樹木の保全とあわせて緑化を推進し、緑あふれる住み良いまちづくりを図る。													
事業内容	苗木の配布や緑化に関する補助金の交付を実施するほか、緑化を推進する計画の策定や遂行を図る。													
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3ㄗ・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()													
行財政改革 の取り組み														

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	緑化補助金の 交付、苗木の 無料配布	緑化補助金の 交付、苗木の 無料配布	緑化補助金の 交付、苗木の 無料配布	緑化補助金の 交付、苗木の 無料配布	緑化補助金の 交付、苗木の 無料配布	
	事業費	5,152	7,753	7,753	7,753	7,753	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	342	350	350	350	350
	一般財源	4,810	7,403	7,403	7,403	7,403	
	人件費	5,193	4,846.8	4,846.8	4,846.8	4,846.8	
	投入 人員	常勤職員	0.75人	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人
		非常勤職員	0.23人	0.18人	0.18人	0.18人	0.18人
事業費+人件費		10,345	12,600	12,600	12,600	12,600	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	緑化推進のための補助金制度の広報回数	補助金制度の広報回数(広報、インターネット、チラシ等)	回	3	3	3	3
	事務事業活動②	緑化事業「とだグリーンウェイブ」の広報回数	広報、インターネット、チラシ等	回	3	3	3	3
	事務事業成果①	緑化推進のための補助金申請件数(生け垣、屋上緑化、駐車場緑化)	補助金の申請があった件数	件	4	4	4	4
	事務事業成果②	「とだグリーンウェイブ」の植樹本数	苗木を無料配布する事業において植樹した本数	本	91	91	91	91
目標達成状況の分析	<p>B：いずれかの目標を達成した。</p> <p><判断理由> 補助金制度を「広報とだ」、「ホームページ」へ掲載すると共に、「チラシ」を窓口に常備することにより周知啓発を行ったが、生け垣等補助金申請1件の実績となった。宅地開発が進む中、生け垣を設置できる環境が減少していることから、制度の抜本的な見直しを検討すべきであると考え。 「とだグリーンウェイブ」の広報活動については目標を達成したが、その成果としての植樹本数については、目標の半数にも満たないものとなった。</p>							

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	<p>B：施策の目標達成に貢献している。</p> <p><判断理由> 市街化が進み大きな緑地が確保しにくい状況下で、生け垣や樹林等を保存し緑の減少を防ぐことや、緑化の普及啓発を図り新たな緑を増やす取り組みは、緑化に貢献しているものとする。</p>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	<p>B：経費は適正な範囲である。</p> <p><判断理由> 屋上緑化や生け垣設置には多額の費用が掛かるため、補助金は妥当な経費と考える。保存樹木に指定したものは高木が多く、管理費が多額であるため、最低限の支援として適正と考える。</p>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	<p>B：事業手法は適正な内容である。</p> <p><判断理由> 緑地の確保は市民と協力して実施すべきものであるが、個人では経済面での負担が大きく、負担軽減のために補助金を交付することで、緑の保全に繋がっていることから、適正な事業手法と考える。</p>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	<p>B：受益・負担は適正な範囲である。</p> <p><判断理由> 補助金額は樹木の本数や面積等に応じている。保全される緑や、新たに設置される緑は広く市民の利益に貢献するもので、環境の向上にも繋がることから、公平性が保たれていると考える。</p>

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和3年度に実施した取組内容・効果	特になし
令和4年度に実施する取組内容	補助金制度見直しの検討

6. 令和5年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<p><方向性の判断理由・取組方針> 緑の保全、創出には市民の理解が不可欠であり、補助金制度や「とだグリーンウェイブ」などの緑化事業を広く市民に周知することにより、制度の活用と緑化推進が図られる。そのため、緑の大切さについて理解を深めることや、緑を守り育てることについて啓発活動を継続していく必要がある。 また、補助金制度については抜本的な見直しを行い、利用しやすく時勢に合った制度へのリニューアルを引き続き検討していく。</p>

事務事業名	27263 水と緑のネットワーク推進事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	緑化推進担当		
組織コード	R4	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	08	04	07	01	03	記入日	令和 4年 6月27日
	R3	15	06	00		R3	01	08	04	07	01	03		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち								再掲施策				● 対象
施策	25	自然に親しむ空間の整備・推進												○ 対象外
事業期間	平成19年度～令和12年度													
根拠法令 通達等	環境共生・創造マスタープラン						関連計画 施政方針	戸田市環境基本計画、戸田市緑の基本計画、水と緑のネットワーク形成プロジェクト(戸田市地区)基本構想、戸田ヶ原自然再生事業全体構想						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号:													
総合戦略	<input checked="" type="checkbox"/> 施策番号: 1-2													
対象	市民、事業者													
事業目的	自然と共生するまちづくりを市民など多様な主体とともに推進することを目的とする。													
事業内容	「戸田ヶ原」の自然再生等事業を関係団体等と連携し、水と緑のネットワーク形成プロジェクトの一環として推進する。													
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input checked="" type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 (企業市民NPO)													
行財政改革 の取り組み														

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	戸田ヶ原自然再生、水と緑のネットワーク形成	戸田ヶ原自然再生、水と緑のネットワーク形成	戸田ヶ原自然再生、水と緑のネットワーク形成	戸田ヶ原自然再生、水と緑のネットワーク形成	戸田ヶ原自然再生、水と緑のネットワーク形成	
	事業費	3,796	4,023	8,247	6,847	6,847	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	1	2	2	2	2
	一般財源	3,795	4,021	8,245	6,845	6,845	
	人件費	3,808.2	4,916.04	4,916.04	4,916.04	4,916.04	
	投入 人員	常勤職員	0.55人	0.71人	0.71人	0.71人	0.71人
		非常勤職員	0.04人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
事業費+人件費		7,604	8,939	13,163	11,763	11,763	

3. 目標達成状況 **<CHECK>**

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	戸田ヶ原自然再生地におけるサクラソウ植え付け株数	株	500	500	500	500	500
	事務事業活動②	戸田ヶ原自然再生事業のイベントの開催件数	件	3	3	3	3	3
	事務事業成果①	戸田ヶ原自然再生地におけるサクラソウ植え付けの株数	株	9,700	10,200	10,700	11,200	11,700
	事務事業成果②	戸田ヶ原イベント開催参加者人数	人	700	700	700	700	700
	総合戦略KPI①	戸田ヶ原イベント開催参加者人数	人	700	700	700	700	700
				559				
				559				
目標達成状況の分析	B：いずれかの目標を達成した。 <判断理由> 戸田ヶ原自然再生地におけるサクラソウ植え付け株数については、植え付けイベントを開催できたことにより、目標を達成できた。戸田ヶ原自然再生事業では、各種イベント開催について6回開催し目標を達成できたが、参加者人数についてはコロナ禍の影響もあり未達成となった。							

4. 評価結果 **<CHECK>**

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。 <判断理由> 水と緑のネットワーク形成プロジェクトの一環として、戸田ヶ原自然再生事業等を市民ボランティア、関係団体と連携・推進することで、自然と共生するまちを実現するものとする。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A：経費の精査が十分になされている。 <判断理由> 既存事業の活用や、市民ボランティア、事業者と協働することにより、限られた予算の範囲内で成果を出しており、適正と考える。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。 <判断理由> 水と緑のネットワーク形成プロジェクト（戸田市地区）行動計画や戸田ヶ原自然再生事業実施計画をもとに、市民や事業者と協働しながら進めており、事業手法は効率的、効果的であると考える。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。 <判断理由> 自然と共生するまちづくりは広く市民の利益に資するものであり、施策の内容は公平性が保たれていると考える。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 **<ACTION>**

令和3年度に実施した取組内容・効果	戸田市への誇りと愛着を育むため、市の花サクラソウを身近に感じ、親しまれることを目的に、サクラソウ苗の配付等を行う「（仮称）サクラソウプロジェクト」を開始した。 とだグリーンウェイブの苗木配付や樹木剪定技術講習会において、参加者に対しサクラソウ苗を配付し、市民がサクラソウに親しむ機会を増やすことができた。
令和4年度に実施する取組内容	市民等がサクラソウに親しむ機会を増やすため、より多くの機会にサクラソウ苗の配付、開花時期以外の普及啓発等を行う「サクラソウプロジェクト」を進めていく。 さらに、自然に親しみ、花と緑を守り育てる空間の整備・推進を図っていくため、緑の働きを活かすグリーンインフラの効果的な活用、緑を通じた市民交流や生活環境への潤いを与える事業の実施について検討していく。

6. 令和5年度の方向性・取組方針 **<ACTION>**

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 自然に親しみ、花と緑を守り育てる空間の整備・推進のため、緑の働きによるグリーンインフラを効果的に活用できる新たな仕組みづくりや市民がサクラソウに親しむ機会を増やしていく「サクラソウプロジェクト」を進めていく。 また、戸田ヶ原自然再生事業については、市民ボランティアや事業者との協働による取組が着実に進んでいることから、得られた経験をいかして引き続き、市民ボランティアや事業者と共に水と緑のネットワーク形成を進めていく。